企業・団体名（　株式会社清風苑　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	各部署のリーダーが相談窓口になり、問題が生じた場合は役員を含むリーダー会議にて情報共有し、問題を解決する体制をとっています。個人の意向や適正を考慮し対応しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	セクハラ･マタハラ･パワハラ等のハラスメントについて就業規則に規定があります。また、R5/2/6にハラスメントの全体研修を行いハラスメントの知見を深めています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	マルチタスクを取り入れることにより勤務時間を調整し、長時間労働にならないように対応しています。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在、外国人技能実習生を雇用していますが適切な処遇や労働環境の整備を行っています。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	専門家による建物･エレベーター･ガス･電気等の定期点検や防災訓練の定期的実施を行っています。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	･上司や、社長による面談機会有り。 ･忘年会や社員旅行等で相互理解を深める場を設けています。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	･年齢･性別･国籍問わず多様な人材を雇用し活躍していただいています。その為に各人の希望勤務形態を取り入れ勤務していただいています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	･都度･外部講師によるマナー研修等を行っています。 ･毎月1回のリーダー会議によりリーダーの育成を行っています。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応しています。雇用形態に応じ責任分担を設けている（社員･パートなど）					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	定期的に健康診断･保険士の指導を行っています。･インフルエンザ予防接種を行っています。新型コロナ対策として、毎日の検温･体調管理･手指消毒等の感染防止対策を徹底している。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	客数の正確な把握、食材在庫管理の徹底･提供メニューの工夫により廃棄物を削減する努力をしています。また、廃棄物の分別徹底の為に分別ゴミ箱を設置しています。【予定】食材廃棄物削減強化･ペーパレス化推進強化の予定											11.6	12		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電力使用状況のモニターを設置し、一定のレベルを超えると警報が鳴り、全館の電気量の調整を毎日しています。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】排出量をどのように把握しどのように抑制していくかを役員会･リーダー会議で議論し実施していく。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	現在、法令で規制されている有害化学物質の使用はない			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	ゴミの分別やリユースの徹底により生物多様性に配慮しています						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	アメニティーの一部をバイオマス使用の製品に変更したり、売店のビニール袋を有料化したり等プラスチック製品の削減に努めています。												13		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】毎月の水道使用量を全体に告知し従業員の節水意識の向上を図る。 ･厨房での節水を工夫し使用量の抑制に努めている						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	取得予定なし			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】長野県SDGs推進企業登録を契機に、必要に応じて取り組みを検討する。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後再生エネルギーの利用を検討する							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	食材など様々な面で持続可能な調達に配慮しています												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	･汚職･贈収賄の禁止について就業規則に明記している																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	行動規範を整備し全体会議で周知している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	行動規範を整備し全体会議で周知している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･個人情報取扱規定に基づき適正な取扱いに努めている･顧客情報の取扱いについて就業規則に定めています																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取り扱いなし																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】現状特別な問題もなく規定もないが、今後必要に応じて関係各社と取り組みを検討する					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	料理に関しては、HACCP基準に沿った衛生管理を徹底している。建物や、温泉に関しては消防署や保健所の指導の下、館内設備の点検維持、安全性の確保に努めている			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	月1回のリーダー会議にて情報の共有をしながら、アンケートをもとにサービスの改善を行っています。　　食品に関してはHACCP基準に沿った衛生管理を徹底しています。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】長野県SDGs推進企業登録を契機に、必要に応じて取り組みを検討する。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】長野県SDGs推進企業登録を契機に、必要に応じて取り組みを検討する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域住民への特別プランの提供や、地域のひな祭りや2年参り等の行事への参加をおこなっている				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	温泉郷と地域との共通の取り組みには積極的参加している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地元産・長野県産のお米、野菜、魚、肉等を積極的に使用し地産地消に努め、食材の良さを食事時などに説明している。　・地域の観光資源である星空鑑賞を積極的にPRしている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	毎週1回の全体朝礼で、経営理念を唱和して、スタッフ間の意識の共有をしている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	行動規範を整備し、朝礼等で周知している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	各部署のリーダーからなる、リーダー会議を中心とし体制作りを進めている。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	株主・お客様・地域・取引先等との対話により、自社の及ぼす影響について把握し、必要に応じて適宜対応している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	自然災害・火災等を想定し、防災、消防訓練を定期的に行っている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	当社の経営理念にはCSRの理念も含まれていますが、今後より一層、取り組みの強化を図りたい。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	災害や火災を想定した避難訓練を定期的に実施している。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	事業継承について役員会で会議し継続のための施策を行っています								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）